

あなたと町の **大**きな架け**橋**に…

大橋よしひさレポート 号外

発行元:大橋よしひさ後援会[杉戸町内田 1-2-8 / 34-7363]

自宅:[杉戸町内田 3-9-5 / 34-7392]

e-mail : yoshihisa.ohashi.sugito@hotmail.com



震災から4年3か月…

友好都市、福島県富岡町の今は！？

平成22年11月3日、杉戸町は福島県富岡町と友好都市になりました。
そして、その約4か月後の平成23年3月11日、あの東日本大震災が起きました。
福島第1原子力発電所の被災に伴い、現在でも富岡町民は避難生活を強いられています。
6月27日、28日にその富岡町を視察しました。富岡町の最新情報をお伝えします。

【 人口の変化は？ 】

2011年3月11日 15,917人 → 現在 13,990人 (1,927人の減)となっています。

震災による死者は、24人、災害関連死は302人です。
福島県内に約11,000人、県外に約4,200人避難しています。(2011年住民登録者対象)

【 町の現状は？ 】

福島第一原発から半径20kmまでは一律警戒区域に指定され、その対象となっていました。
2013年に早急な復旧、復興を図るため、町を放射線量により3分割しました。

区域	面積	人口割合
帰還困難地域(放射線量50mSv/年超)	15%	4,800人(30%)
居住制限区域(放射線量20~50mSv/年)	50%	9,800人(60%)
避難指示解除準備区域(放射線量20mSv/年未満)	35%	1,400人(10%)

なお、除染の状況は次のようになっています。

計画では、

- ① 宅地、宅地周りの森林は平成27年度中に完了
- ② 農地、道路、その近隣の森林は平成28年度中に完了

進捗状況	道路	62.6%
	宅地	21.5%
	農地	21.9%
	森林	40.5%

【 富岡町スナップ 】

バス内からの撮影のため、写真がぶれております。ご了承ください。



おびただしい量の除染土と震災によるゴミ。袋の大きさは、縦、横、高さ約ともに 1m。
いたるところに山積みになっていました。



←立ち入り禁止区域に立つ警察官

流されたJR富岡駅→
平成 30 年以内の運転再開目指す



私の裏に建つ建物は、富岡町内で発生した廃棄物を破砕、選別、焼却するために建てられた施設です。

粉砕することでゴミの容積が 1/5~1/20 に減少するそうです。また、焼却炉の処理能力は 2 基で合計 500t/日。これは東京 23 区にあるゴミ処理施設の 2 つ分にあたるそうです。

平成 30 年度末までに営業運転を終え、その期間内に解体されます。総事業費は 640 億円で、全体で 300 人以上の職員の方が働いています。



←施設内の機材

人がいない町中、壊れたままの建物…。まだまだ復興途中という感じを受けました。

改めて、被災された方に心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興を祈念いたします。

～ 大橋よしひさプロフィール ～

- ・ 昭和 55 年 杉戸町生まれ(現在 34 歳) ・ 中央幼稚園、杉戸小、杉戸中、越谷北高校卒。
- ・ 明治大学経営学部経営学科入学(学生時代に元厚労大臣細川律夫事務所にインターンシップ)
- ・ 大学卒業後、大手学習塾に就職。
- ・ 平成 22 年 学習塾「向学館」を創立し、独立する。(現在 6 年目、卒塾生 51 人、約 30 名の生徒を指導)
- ・ 平成 23 年 杉戸町議会議員選挙に挑戦、960 票のご支持をいただき当選。